

(7) 頭が痛い

頭痛は頭を打った時などの外的要因を除くと、風邪などの発熱性疾患によるものが多く、基本的に疾患の回復とともにおさまるものが殆どです。

しかしながら、3歳から4歳くらいまでの子供が頭痛を的確に表現することは、かなり難しいと思います。「頭がいたい」と言っても本当に頭痛かどうかわからないこともありますので、機嫌や顔色をよく観察してください。よくしゃべり、食欲もあり、機嫌もよければしばらく様子を見てみてもさしつかえないでしょう。

医療機関救急受診のポイント

(救急外来を受診しましょう)

- ▶ けいれんをおこした
- ▶ 下痢をしていないのに何度も嘔吐(おうと)する
- ▶ 眠たそうではないのに、呼びかけてもはっきり答えない
- ▶ ぐったりして顔色が悪い



家庭での対処方法のポイント (Q & A)

Q 1 痛み止めなどは飲ませていいの？

頭が痛いと訴えてから10分以上様子を見てください。その間に体温を測ってみてください。症状が改善すれば薬は飲ませないでください。

症状が同じ程度かひどくなるようなら、薬を飲ませてもさしつかえありませんが、大人用の痛み止めは飲ませないようにしてください。また、発熱がある場合はその原因によって対応を考えてください(①熱があるの項目を参照してください)。



Q 2 子供の頭痛と大人の頭痛は違うのですか？

大人の頭痛には片頭痛(へんずつう)や筋緊張性頭痛(きんきんちようせいずつう)など特徴的な症状がみられるものがあります。幼児までの子供は自覚症状からそのような頭痛を鑑別(かんべつ)することは難しいと思います。原因のはっきりしない頭痛の場合は経過をみるのが基本です。数日以上続いたり、頻繁に痛いと言訴える場合は、医療機関を受診してください。

この症状によくみられる代表的な病気は？

- ▶ 感冒(かんぼう)、咽頭炎など発熱とともに出現する頭痛
- ▶ 髄膜炎(すいまくえん)、脳腫瘍(のうしゅよう)、脳出血など脳の病気に伴う頭痛
- ▶ ストレスなど心身症的要因による頭痛
- ▶ 原因のはっきりしない頭痛